

「複数のJPシートを1つにする」

JP法研究会 富士栄

直近(10/9の週)の日経平均週足上には、412番と414番のサインが同時に点灯しました。

それぞれはこうなります。

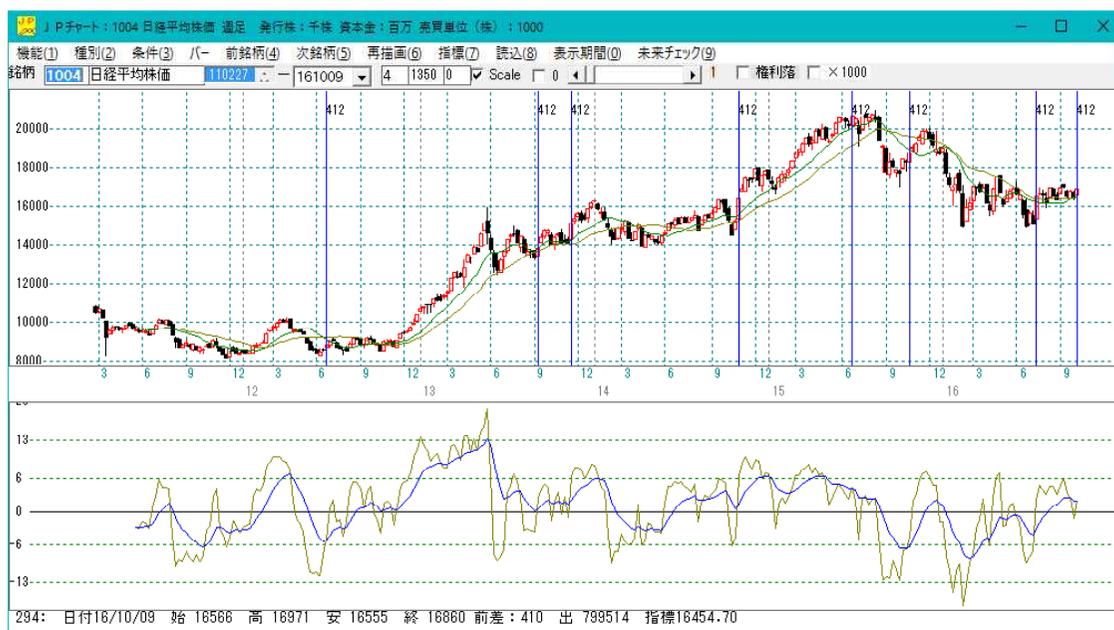
412番シート

JP法分析シート 運用用 412番

コメント 日経平均 買いサイン-12- 買い転換 緩い条件

短期弾性値 以上	出来高倍率 以下	最高値/最低値 周期	出来高水準 周期
短期弾性値 以下	最大出来高 周期	最高値/最低値 以上	出来高水準 以上
中期弾性値 以上	最大出来高か?	最高値/最低値 以下	短中M間カイリ 以上
中期弾性値 以下	短弾 向き 4	最高値/最高値 周期	MACD①(4-20) 向き
長期弾性値 以上	中弾 向き	最低値/最高値 以上	MACD②(5-20) 向き
長期弾性値 以下	長弾 向き	最高値/最高値 以下	短M/中M 位置
MAV指標 以上	MAV 向き	最高値/周期 以上	生中弾/中弾 位置
MAV指標 以下	短期M 向き	最高値/安値 以上	生長弾/長弾 位置
短期M指標 以上	中期M 向き	最高値/安値 以下	株価水準 以上
短期M指標 以下	生短弾 向き	最低値/周期 以上	株価水準 以下
中期M指標 以上	生中弾 向き	最高値/高値 以上	
中期M指標 以下	生長弾 向き	最低値/高値 以下	
生短弾性値 以上	短コスト 向き	長コスト/前日安値 以上	
生短弾性値 以下	長コスト 向き	長コスト/前日安値 以下	
生中弾性値 以上	短/長コスト 位置	長コスト/前日高値 以上	
生中弾性値 以下	短コスト上/下抜け	長コスト/前日高値 以下	
生長弾性値 以上	長コスト上/下抜け	生短弾/短弾 位置	
生長弾性値 以下	短長DC後日柄 以上	終値/高値 以上	
最安値 周期	短長DC後日柄 以下	終値/高値 以下	
最安値比率 以上	短長GC後日柄 以上	終値/安値 以上	
最安値比率 以下	短長GC後日柄 以下	終値/安値 以下	
最安値日柄 以上	短弾/中弾 位置	新値 周期	
最安値日柄 以下	中弾/長弾 位置	安値更新本数 以上	
最高値 周期	短弾/長弾 位置	安値更新本数 以下	
最高値比率 以上	陽線/陰線?	高値更新本数 以上	
最高値比率 以下	高値切り上/下がり	高値更新本数 以下	
最高値日柄 以上	安値切り上/下がり	足取り:5本設定	
最高値日柄 以下	RJ指数 以上	ハイ・ローバンド 周期 3	
出来高倍率 周期	RJ指数 以下	ハイ・ローバンド 向き 4	
出来高倍率 以上	RJ指数 向き	短中M間カイリ 以下	

点灯ポイント



4 1 4 番シート

J.P.法分析シート 運用用 414番

コメント 日経平均 買いサイン-14- システム売買検索 51番条件

短期弾性値 以上	出来高倍率 以下	最高値・最安値 周期	出来高水準 周期
短期弾性値 以下 3	最大出来高 周期	最高値/最安値 以上	出来高水準 以上
中期弾性値 以上	最大出来高か?	最高値/最安値 以下	短中M間カイリ 以上
中期弾性値 以下	短弾 向き 4	最安値・最高値 周期	MACD①(4-20) 向き
長期弾性値 以上	中弾 向き	最安値/最高値 以上	MACD②(5-20) 向き
長期弾性値 以下	長弾 向き	最安値/最高値 以下	短M/中M 位置
MAV指標 以上	MAV 向き	最高値 周期	生中弾/中弾 位置
MAV指標 以下	短期M 向き	最高値/安値 以上	生長弾/長弾 位置
短期M指標 以上	中期M 向き	最高値/安値 以下	株価水準 以上
短期M指標 以下	生短弾 向き	最安値 周期	株価水準 以下
中期M指標 以上	生中弾 向き	最安値/高値 以上	
中期M指標 以下	生長弾 向き	最安値/高値 以下	
生短弾性値 以上	短コスト 向き 1	長コスト/前日安値 以上	
生短弾性値 以下	長コスト 向き 1	長コスト/前日安値 以下	
生中弾性値 以上	短/長コスト 位置	長コスト/前日高値 以上	
生中弾性値 以下	短コスト上・下抜け	長コスト/前日高値 以下	
生長弾性値 以上	長コスト上・下抜け	生短弾/短弾 位置	
生長弾性値 以下	短長DC後日柄 以上	終値/高値 以上	
最安値 周期	短長DC後日柄 以下	終値/高値 以下	
最安値比率 以上	短長GC後日柄 以上	終値/安値 以上	
最安値比率 以下	短長GC後日柄 以下	終値/安値 以下	
最安値日柄 以上	短弾/中弾 位置	新値 周期	
最安値日柄 以下	中弾/長弾 位置	安値更新本数 以上	
最高値 周期	短弾/長弾 位置	安値更新本数 以下	
最高値比率 以上	陽線・陰線?	高値更新本数 以上	
最高値比率 以下	高値切り上・下がり	高値更新本数 以下	
最高値日柄 以上	安値切り上・下がり	足取り・5本設定	
最高値日柄 以下	RJ指数 以上	ハイ・ローバンド 周期	
出来高倍率 周期	RJ指数 以下	ハイ・ローバンド 向き	
出来高倍率 以上	RJ指数 向き	短中M間カイリ 以下	

点灯ポイント



「同時点灯した」という事は当然ながら、両方の条件に合致した場合となります。

4 1 2 番の条件を満たし、かつ4 1 4 番の条件を満たした。という事です。

では、過去において、両方の条件を満たした日はあるのでしょうか？

今回は、それを調べたいと思います。

412番の点灯日と414番の点灯日を1つずつ見比べていけば、同時点灯した日は分かりますが、とても面倒な作業です。

そこで、2つのシートを1つにしてみましょう。

■複数のシートを1つにまとめる

412番シートと414番シートを1つにしてみましょう。

それぞれの入力項目から、お互いを補うようにセットします。

一言で、「お互いを補う」といっても、出来る場合と出来ない場合があります。

まず、2つのシートを比べて、片方には入力されているが、もう片方には、入力されていない場合。

412番シートの「ハイローバンド」の項目、

414番シートの短弾以下、短コストの向き、長コストの向きの項目です。

これは、そのまま入力します。

両方のシートに入力されている場合

短弾向きの項目です。共に「4」なのでそのまま入力できます。

そうするとこうなります。

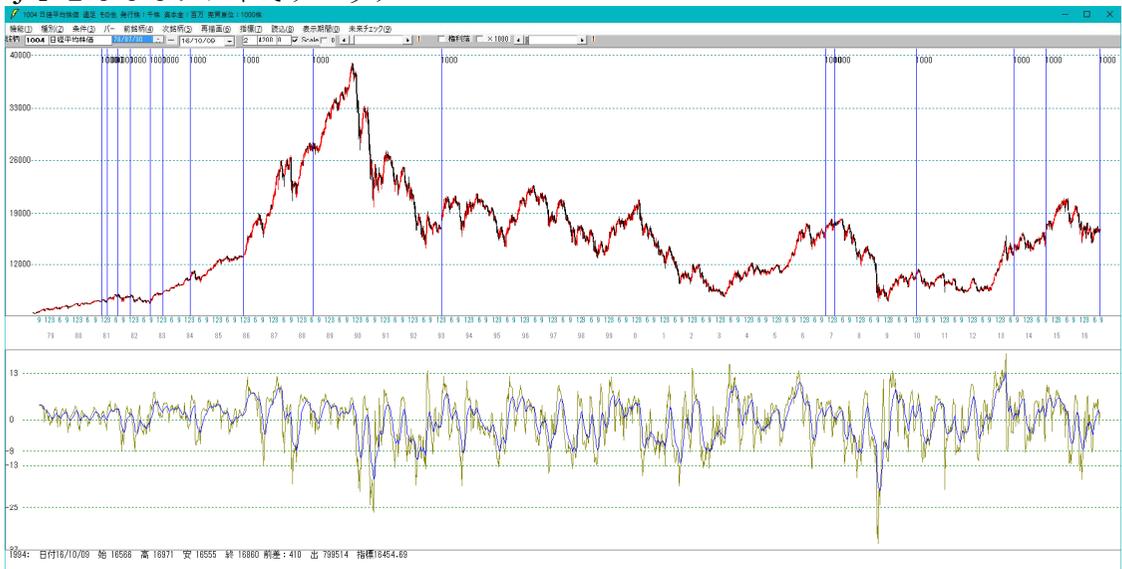
The screenshot shows a software window titled "JP法分析シート 運用用 1000番". The main area is a grid with columns for different data points. The first column is labeled "コメント" and contains "412+414". The grid has several rows of data points, some with checkboxes or numerical values. For example, "短弾" has a value of "4", "短コスト" has a value of "1", and "ハイローバンド" has values "3" and "4". The right side of the window has a vertical toolbar with buttons like "閉じる", "印刷", "変更", "初期化", "保存", "一覧表", "CSV", "取込", "一括", "印刷2", and "白".

項目	値	項目	値	項目	値	
短期弾性値	以上	出来高倍率	以下	最高値・最安値	周期	
短期弾性値	以下	最大出来高	周期	最高値/最安値	以上	
中期弾性値	以上	最大出来高か?		最高値/最安値	以下	
中期弾性値	以下	短弾	向き	4	最安値・最高値	周期
長期弾性値	以上	中弾	向き		最安値/最高値	以上
長期弾性値	以下	長弾	向き		最安値/最高値	以下
MAV指標	以上	MAV	向き		最高値	周期
MAV指標	以下	短期M	向き		最高値/安値	以上
短期M指標	以上	中期M	向き		最高値/安値	以下
短期M指標	以下	生短弾	向き		最安値	周期
中期M指標	以上	生中弾	向き		最安値/高値	以上
中期M指標	以下	生長弾	向き		最安値/高値	以下
生短弾性値	以上	短コスト	向き	1	長コスト/前日安値	以上
生短弾性値	以下	長コスト	向き	1	長コスト/前日安値	以下
生中弾性値	以上	短/長コスト	位置		長コスト/前日高値	以上
生中弾性値	以下	短コスト上/下抜け			長コスト/前日高値	以下
生長弾性値	以上	長コスト上/下抜け			生短弾/短弾	位置
生長弾性値	以下	短長DC後日柄	以上		終値/高値	以上
最安値	周期	短長DC後日柄	以下		終値/高値	以下
最安値比率	以上	短長GC後日柄	以上		終値/安値	以上
最安値比率	以下	短長GC後日柄	以下		終値/安値	以下
最安値日柄	以上	短弾/中弾	位置		新値	周期
最安値日柄	以下	中弾/長弾	位置		安値更新本数	以上
最高値	周期	短弾/長弾	位置		安値更新本数	以下
最高値比率	以上	陽線・陰線?			高値更新本数	以上
最高値比率	以下	高値切り上/下がり			高値更新本数	以下
最高値日柄	以上	安値切り上/下がり			足取り・5本設定	
最高値日柄	以下	RJ指数	以上		ハイローバンド	周期
出来高倍率	周期	RJ指数	以下		ハイローバンド	向き
出来高倍率	以上	RJ指数	向き		短中M間カイリ	以下

同時点灯日は下記のようになります。



JP2000ソフトでチェック



では、同じ項目に違う数値が入力されていた場合は、どちらを入力すればいいのでしょうか？

今回は、たまたま短弾向きの項目が同じ「4」でした。

それは、両方を見比べて「厳しい条件の方を採用する」となります。

では、厳しい条件とは何か？考えていってみましょう。

例.

数値と向き

まず下記2つのシートを見比べて下さい。

短弾以下の項目に、それぞれ-10、0とセットされてます。

また短弾向きでは4と1。違う数値です。

項目	条件	数値
短期弾性値	以上	
短期弾性値	以下	-10
中期弾性値	以上	
中期弾性値	以下	
長期弾性値	以上	
長期弾性値	以下	
MAV指標	以上	
MAV指標	以下	
出来高倍率	以下	
最大出来高	周期	
最大出来高か?		
短弾	向き	4
中弾	向き	
長弾	向き	
MAV	向き	
短期M	向き	

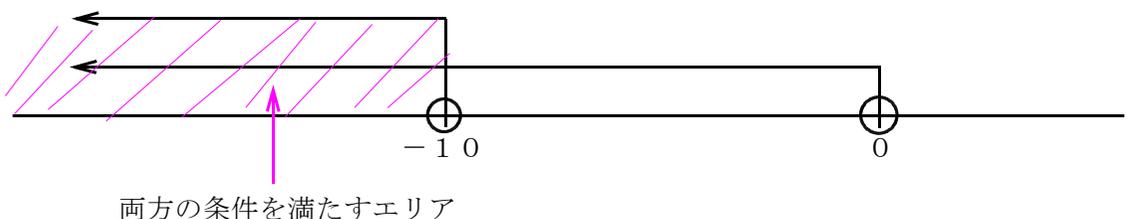
項目	条件	数値
短期弾性値	以上	
短期弾性値	以下	0
中期弾性値	以上	
中期弾性値	以下	
長期弾性値	以上	
長期弾性値	以下	
MAV指標	以上	
MAV指標	以下	
出来高倍率	以下	
最大出来高	周期	
最大出来高か?		
短弾	向き	1
中弾	向き	
長弾	向き	
MAV	向き	
短期M	向き	

数値についてですが、-10以下と0以下という条件の場合、どちらが厳しい条件かわかりますか？

それは、-10以下です。両方の条件に合致していないといけませんので。

-10以下でかつ0以下。という意味合いになります。

数値が-5以下だった場合、0以下の条件は満たしますが、-10以下ではないのでダメとなります。



次に向きについてですが、「4」という意味は、V字です。
つまり下降から上昇に反転した瞬間のポイントのみとなります。

「1」は、上向き。前日より今日の数値が大きくなります。

→なので、「4」は「1」に完全に含まれますが、「1」は上向いた瞬間だけではなく、
続伸も含まれますので、「4」のほうが厳しい条件となります。

このことから、2つのシートを合わせると下記のようになります。

JP法分析シート 満足用 900番					
コメント					
短期弾性値	以上		出来高倍率	以下	
短期弾性値	以下	-10	最大出来高	周期	
中期弾性値	以上		最大出来高か？		
中期弾性値	以下		短弾	向き	4
長期弾性値	以上		中弾	向き	
長期弾性値	以下		長弾	向き	
MAV指標	以上		MAV	向き	
MAV指標	以下		短期M	向き	

下記の2つをまとめると、どうなるでしょうか？

JP法分析シート 満足用 900番					
コメント					
短期弾性値	以上	0	出来高倍率	以下	
短期弾性値	以下		最大出来高	周期	
中期弾性値	以上		最大出来高か？		
中期弾性値	以下		短弾	向き	5
長期弾性値	以上		中弾	向き	
長期弾性値	以下		長弾	向き	
MAV指標	以上		MAV	向き	
MAV指標	以下		短期M	向き	

JP法分析シート 満足用 901番					
コメント					
短期弾性値	以上	10	出来高倍率	以下	
短期弾性値	以下		最大出来高	周期	
中期弾性値	以上		最大出来高か？		
中期弾性値	以下		短弾	向き	3
長期弾性値	以上		中弾	向き	
長期弾性値	以下		長弾	向き	
MAV指標	以上		MAV	向き	
MAV指標	以下		短期M	向き	

短弾以上の項目に「0」、もう片方は、「10」です。

0以上でかつ10以上となりますから、採用する数値は、「10」です。

次に向きです。「5」ともう片方は「3」です。

「5」という意味は、逆V字です。
つまり上昇から下降へ反転した瞬間のポイントのみとなります。

「3」は、下向き。前日より今日の数値が小さいとなります。
→なので、「5」は「3」に完全に含まれますが、「3」は下向いた瞬間だけではなく、
続落も含まれますので、「5」のほうが厳しい条件となります。

このことから、2つを合わせるとこうなります。

JP法分析シート 満足用 902番					
コメント					
短期弾性値	以上	10	出来高倍率	以下	
短期弾性値	以下		最大出来高	周期	
中期弾性値	以上		最大出来高か?		
中期弾性値	以下		短弾	向き	5
長期弾性値	以上		中弾	向き	
長期弾性値	以下		長弾	向き	
MAV指標	以上		MAV	向き	
MAV指標	以下		短期M	向き	

ここまでの、複数のシートを1つにまとめる事が出来る解説をしました。

しかし、1つにまとめられない場合もあります。

それは、どういう場合なのかというと、周期が異なる場合です。

■ 1つに出来ない場合

下記2つのシートを見比べてみましょう。

足取り・5本設定		
ハイ・ローバンド	周期	5
ハイ・ローバンド	向き	4
短中M間カイリ	以下	

足取り・5本設定		
ハイ・ローバンド	周期	15
ハイ・ローバンド	向き	1
短中M間カイリ	以下	

共にハイローバンドの項目です。
周期と向きが違います。

向きは、「4」と「1」なのでより厳しい条件は「4」です。

周期ですが、「5」と「1 5」。共に異なっています。

この場合、1つにまとめる事が出来ません。

では、短弾はなぜ1つに出来たか？というと、実は周期が固定だからです。

弾性値、M指標、MAV指標、RJ指数は、周期が固定です。
→1つにまとめる事が出来ます。

最安値比率、日柄。最高値比率、日柄。出来高倍率など、シートをみていくと「周期」を入力する項目が見受けられます。
→これらの項目は1つにする事が出来ません。

JP法株価分析システムでは、ここまでが限界です。

JP2000ソフトの場合は、プロ向きという事もあり、異なる周期のシートを1つにする事は出来ませんが、チェックする事は可能です。

■JP2000でチェックする

先の2つのシート、901番シートは5日ハイローバンドが買い転換「4」でかつ、902番シートは15日ハイローバンドが買い場「1」の場合。

「条件」－「自動チェック設定」から下記のように設定します。

JP分析シート自動チェック設定画面

自動チェックをする場合はこの画面を閉じないで下さい。

自動チェック

しない する

条件シート番号

901 番 ~ 902 番

チェック方法はどちら？

ORチェック ANDチェック

チェック方法を「ANDチェック」とします。

こうする事によって、複数のシート全てに合格した日を知ることが出来ます。

AND条件なので、901番に合格し、かつ902番に合格した時となります。

JP2000ソフトユーザー様は、お試し下さい。